

CASBEE 戸建-新築

■使用評価マニュアル: CASBEE戸建-新築 (2010年版)

評価結果

■使用評価ソフト: CASBEE_DH-NC_2010v1.2

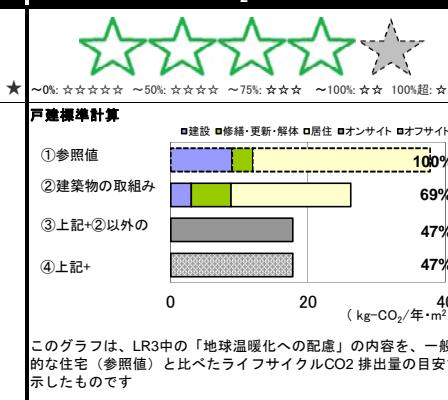
1-1 建物概要

建物名称	ソーラータウン府中15号棟	仕様等の確定状況	建物の仕様	確定
竣工年月	2013年4月	予定	持ち込み家電等	確定
建設地	東京都府中市美好町二丁目	外構の仕様	確定	
用途地域 省エネルギー地域区分	第一層低層住居専用 IV	<備考>		
構造・構法	木造	評価の実施日	2013年2月24日	
階数	2	作成者	戸01694-14 城丸 智也	
敷地面積	135 m ²	確認日		
建築面積	60 m ²	確認者		
延床面積	113 m ²			
世帯人数	4			

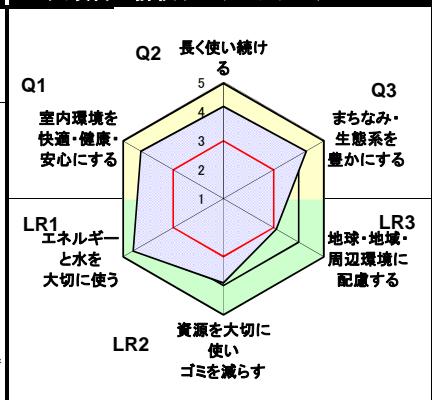
1-2 外観



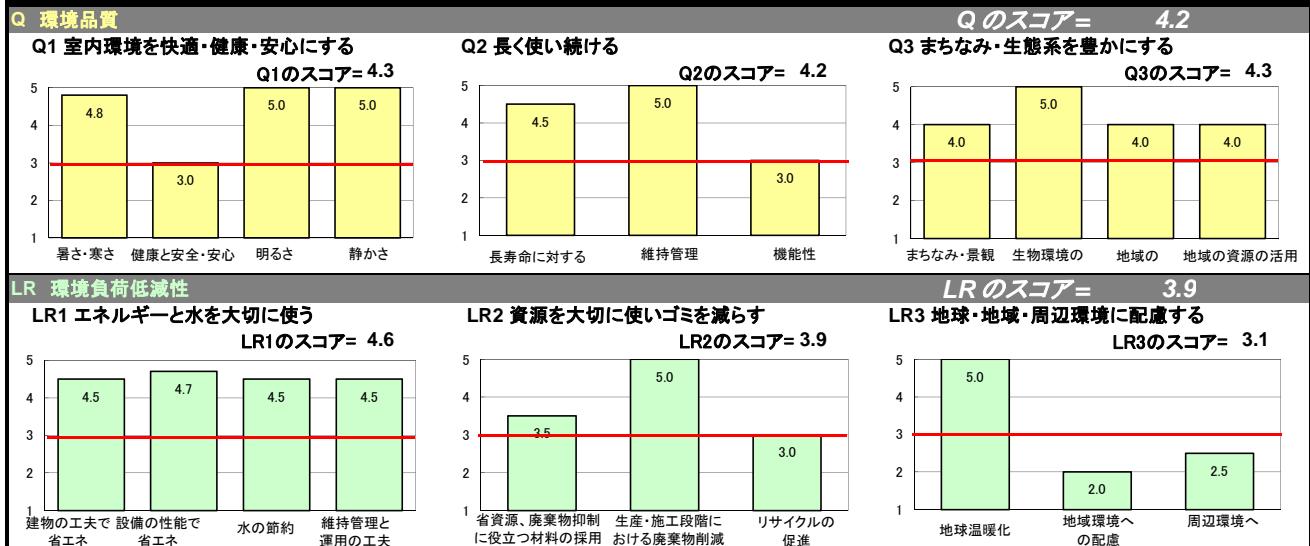
2-1 すまいの環境効率(BEEランク&チャート)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

整合

気持ちよく長く使い続けられることがテーマの住宅である。構造は外周部と1本の大黒柱のみで持たせることで、将来の間取りの変更へ対応を可能にした。長期の使用を前提に、劣化の軽減、維持管理の容易さを重点においた。断熱性能を高めつつ、パッシブソーラーを採用し、建物全体の環境を向上させた。周辺、ひいては地球環境へも配慮したシステムであるため、少ないエネルギーでも快適さを保ち、緑をうまく配することで心地よい環境を作っている。

Q1 室内環境を快適・健康・安心にする

断熱材は性能の高いものを選択した。サッシは全て断熱性の高いサッシ、ガラスはLow-Eガラスとして性能表示等級(温熱等級)4を満たすようにした。暖房はパッシブソーラーを採用し、建物全体の室温の均質化を図り快適な室内環境を実現した。夏季には西側の窓前にグリーンカーテンを植生させ、室内への日射の遮蔽、涼風を期待する。

LR1 エネルギーと水を大切に使う

性能表示等級(温熱等級)4を満たすことによって建物の熱負荷を軽減した。また節水タイプのキッチンの水栓、シャワーのフックを使用して節水に努めた。太陽光発電システムを採用し、ガス等によるエネルギー供給を大きく削減することができる。

Q2 長く使い続ける

長く使い続ける為に、劣化の軽減等級3、維持管理等級3、耐震等級3を確保した。外壁通気工法での施工により転体の耐久性を上げられる。また外周部と1本の大黒柱という構造特徴により、家族構成の変更に伴う間取り変更の対応が容易である。

LR2 資源を大切に使いゴミを減らす

転体全てに多摩産材を使い、地産地消を実現した。そのため木材運搬に係るCO₂も削減している。屋根・外装材はガルバリウム鋼板、内装下地は石膏ボード、内装仕上げに和紙クロスを使用し、省資源・廃棄物抑制に努めた。

その他

これから的生活環境、ひいては地球環境を考慮した新しい住宅を提案した。建設過程における運送エネルギーの削減、生活スタイルではパッシブソーラーやソーラーパネルなど、枯渇資源である化石燃料から自然エネルギーへのエネルギーシフトの可能性と現実性を盛り込んでいる。

Q3 まちなみ・生態系を豊かにする

外装は周辺の住宅環境と調和した形状、色彩とした。また、北側公園から続くように樹木を配した。加えて、建物周辺に人が十分通れる程度の空きを確保し、災害時の避難が有効にできるようにした。

LR3 地球・地域・周辺環境に配慮する

敷地内は形状を変更することなく保全に努め、隙間にタマリュウを植栽した。夏季には西側窓にグリーンカーテンを植生させる。